

# 倉敷室内管弦楽団 特別演奏会

79年7月15日(日)14時

 **倉敷市民会館**

主催 / 倉敷市・倉敷市教育委員会・倉敷市自主文化事業協会・倉敷市文化連盟・倉敷室内管弦楽団  
後援 / NHK岡山放送局・山陽放送・岡山放送



みずしまあいこ  
バイオリン独奏 **水島愛子略歴**

- 3才より才能教育研究会に於て中村太郎・鈴木鎮一両氏に師事。
- 8才より宗倫安氏に師事、其間父故小森英正(慶大出、N響元ピオラ奏者)に師事。
- 神奈川県音楽コンクールに入賞。
- 1968年桐朋学園大学弦楽科卒。
- ウイン国立音楽院にてエディット・シュタインパウアー女史、フランツ・サモヒル両氏に師事。
- 1971年ウインで行われたヨーゼフ・ハイドン弦楽四重奏国際コンクールにて一位入賞。
- 1972年ライブチッヒ市に於ける第4回ヨハン・セバスチャン・バッハ国際コンクール・ヴァイオリン部門にて特賞を受く。

- 1973年ウイン国立音楽院を首席で卒業。
- 西独、ニュルンベルグ・シンフォニー・オーケストラに独奏者兼コンサート・マスターにて迎えられる。
- 1974年ミュンヘン室内合奏団コンサート・マスターに就任、ソリストとして活躍。
- 1976年バイエルン放送交響楽団(ラファエル・クーベリック指揮)に入団。
- 現在同団バイオリン奏者として、と共に各首席奏者メンバーと弦楽四重奏団を組織し、室内楽においても各地で活躍中。
- なお、今回の指揮者柘本辰郎とは、父が親友、母が従妹に当る。
- ★本日使用バイオリン……………Paolo Antonio Testore 1758年作

**指 揮 柘本辰郎略歴**



- 1916年岡山市に生る。
- 1941年(S16)慶応義塾大学法学部卒。
- 其の間慶大ワグネル・ソサイエティー管弦楽部に於てチェロ・ファゴット指揮にて活躍。
- 大塚楠男・鈴木 聡(チェロ)、三田平八郎・金子 登(ファゴット)、大塚淳・山口正男(指揮)の各氏に師事。
- コンセル・ポピュレール交響楽団(服部 正氏主宰、現東京フィルハーモニーの前身) O. B. 交響楽団等に在籍、日本ビクター(株)洋楽課勤務等。
- 1955年(S30)帰国後、岡山大学講師として、同教育楽部の管弦楽団学友会交響楽団、岡山フィルハーモニー、岡山放送交響楽団、岡山市ジュニア・オーケストラ、倉敷室内管弦楽団等の創設につくと共に指導育成に当る。
- 音楽事状視察、研修の為欧米旅行9回。

**倉敷室内管弦楽団**

文化都市倉敷にふさわしいユニークな楽団として、倉敷・岡山及び近郊在住の音楽愛好者が集まり、昭和49年12月に発足しました。

毎年1回定期演奏会を開くほか、昨年は12月に第4回定期、2月に葦の会(オーボエ・ファゴット協奏曲の夕べ)7月に大原総一郎追悼演奏会(モーツァルト・レクイエム)11月にゴールドブレンドコンサート(映画音楽集)に出演するなど多彩な演奏活動を展開、その高度な技術と美しい音楽の創造はすでに定評があり、将来の発展に市民は大きな期待をかけています。



(第3回定期演奏会・和波孝禧とともに)

## プログラム

---

### バイオリン協奏曲 イ短調 作品3 .....ヴィヴァルディ

- 第1楽章 アレグロ (モデラート・エ・ディシソオ)  
第2楽章 ラルゴ  
第3楽章 プレスト

### 交響曲 第8番 口短調 (未完成) .....シューベルト

- 第1楽章 アレグロ・モデラート  
第2楽章 アンダンテ・コン・モト

————— (休 け い) —————

### バイオリン協奏曲 ニ長調 作品61 .....ベートーヴェン

- 第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロppo  
第2楽章 ラルゲット  
第3楽章 ロンド・アレグロ

バイオリン独奏 水 島 愛 子  
指 揮 柁 本 辰 郎  
管 弦 楽 倉敷室内管弦楽団

## 曲目解説

---

### ヴィヴァルディ バイオリン協奏曲 イ短調 作品 3

(Antonio, Vivaldi, 1675—1743)

ヴィヴァルディは、イタリアのヴェニスに生れ、17世紀後半から18世紀初頭にかけての、有数のバイオリニスト兼優れた作曲家。弦楽を中心とした数多くの独奏、重奏曲を残しているが、今日演奏される曲は特に有名で、初級バイオリンの教材にも使われている名曲です。

### シューベルト 交響曲 第8番 口短調 (未完成)

(Frantz, Schubert, 1797—1828)

自らも自分の楽才に気づくことなく薄幸、不遇の内に35才の短い生涯を閉じた、ウインの作曲家。この交響曲は彼の死ぬ6年前に書かれ、何故か第3楽章は9小節のスケッチだけで終わっているが、この2つの楽章だけで、総てを語りつくしているような完成された曲。今日まで幾度となく、未完成を完成させる運動、なるものが起っては消えています。これを見ても未完成どころか、完成された音楽であることを証明するものです。

### ベートーヴェン バイオリン協奏曲 ニ長調 作品61

(L. van, Beethoven 1770—1827)

ベートーヴェン唯一のバイオリン協奏曲であり、一生涯、苦斗の連続であった彼としては、最も幸福であった35才の作品。即ちテレーゼ、ブルンスウィックとの婚約が調った時代で、曲も全体に明るい幸福感に満ちあふれている。古今バイオリン協奏曲の中でも、名曲中の名曲です。

# 倉敷室内管弦楽団出演者

団 長：小 山 裕 章  
 運営委員長：田 辺 幹 夫  
 顧 問：枅 本 辰 郎

常 任 指 揮 者：菊 池 東  
 コンサートマスター：守 屋 美 枝 子

## 1st Violins:

菊 池 東  
 守 屋 美枝子  
 佐 藤 真理子  
 中 桐 佐知子  
 茂 成 陽 子  
 坂 本 惠 理  
 陶 山 靖 彦  
 越 宗 宣 子  
 松 田 敏 彦  
 ○竹 本 洋  
 ○池 田 義  
 ○小 山 洋 治  
 ○守 屋 由 美  
 ○落 厚 子

## 2nd Violins:

森 田 真 理  
 安 藤 律 子  
 高 橋 久 子  
 黒 住 晃 代  
 二 木 一 元  
 大 塚 佳 子  
 綾 野 めぐみ  
 西 崎 由 美  
 奈 留 純 子  
 寺 園 美 穂 子  
 ○島 村 圭 一  
 中 塚 美 智 子

## Violas:

黒 住 彰 夫  
 中 野 隆 重  
 室 野 孝 明  
 友 野 良 一  
 谷 本 道 代  
 中 藤 延 代  
 掘 川 龍 子  
 ○食 満 悦 三  
 ○日 比 谷 平 一

## Violoncellos:

田 辺 幹 夫  
 西 田 毅 雄  
 宇 野 義 雄  
 大 森 陽 子  
 光 延 勢 吾  
 中 野 啓 子  
 森 田 真 弓  
 西 村 下 子

## Contrabasses:

森 田 博 之  
 松 本 高 広  
 安 田 友 子  
 藤 井 正 勝  
 山 本 真 貴  
 谷 一 尚

## Cembalo:

黒 江 偉 代

## Flutes:

岡 野 純 子  
 ○星 島 明 郎

## Oboes:

有 道 淳 子  
 大 槻 節 子

## Clarinets:

高 杉 玲 子  
 磯 田 道 代

## Fagots:

稲 田 裕 章  
 太 田 匡 紀

## Horns:

西 崎 大 修  
 福 田 博 満

## Trumpets:

森 田 裕 三  
 ○石 原 憲 憲

## Trombones:

佐 藤 道 郎  
 佐 藤 正 俊  
 藤 原 達 彦

## Timpani:

西 岡 啓 治

(○印 特別参加者)

## 倉敷室内管弦楽団 第5回定期演奏会

S.54.12.9(日) 2:00 P.M 倉敷市民会館

指 揮：菊 池 東 Vc：安 田 謙 一 郎

ハ イ ド ン：チェロ協奏曲 二長調 作品101  
 ベー トーベン：交響曲第1番 ハ長調 作品21 ほか